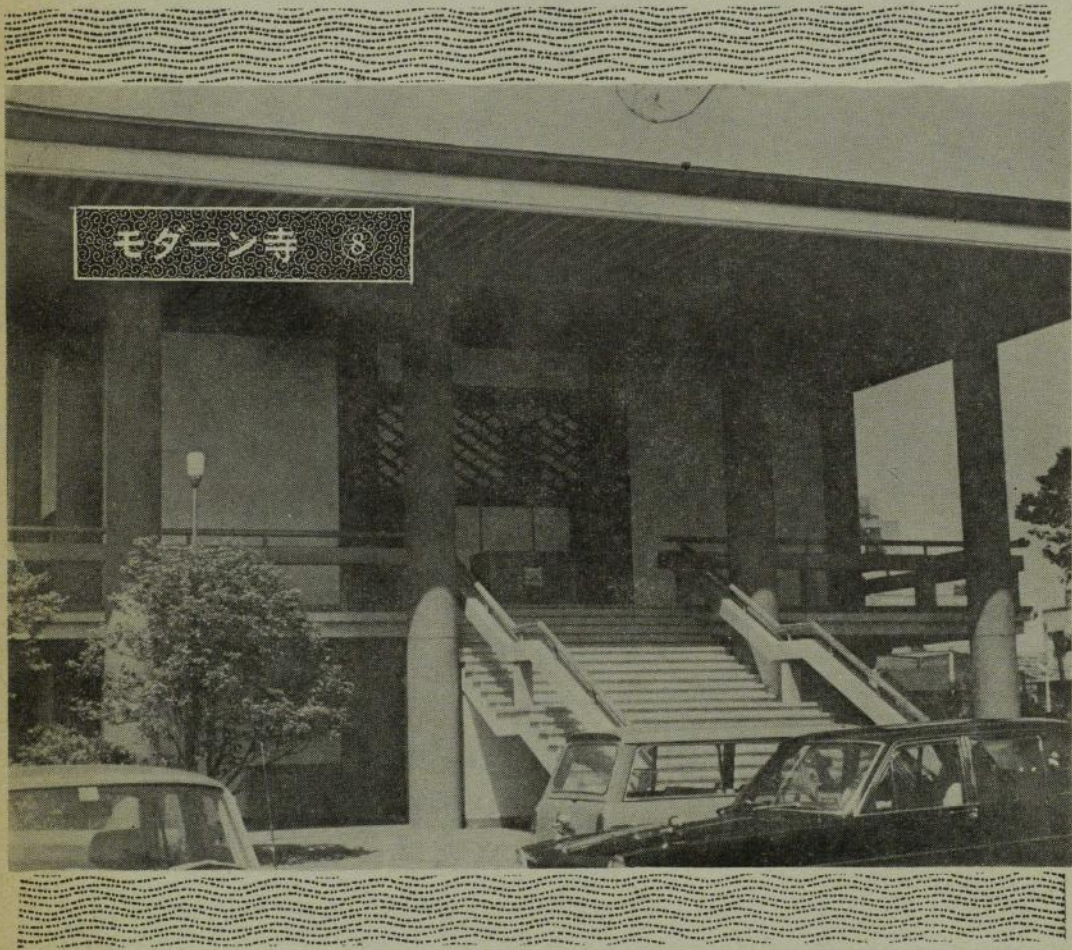


全 友

No. 136

6 43.

新宿区 柏木常円寺



特集

ヒューマニズムとは何か

元法政大学総長 谷川徹三氏

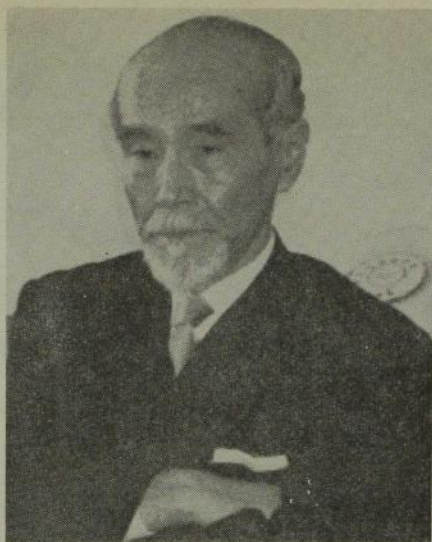
財団法人 全日本仏教会

“特集”

ヒューマニズムとは何か

元法政大学総長

谷川徹三



ヒューマニズムという言葉は人間主義とか、人間中心主義、人本主義、いろんな言葉で訳されております。また人道主義という言葉も使われております。けれどもこれはヒューマニズムであるよりも、ヒューマニタリアニズムであると私共考えられておりますので、そういう点の区別というような

問題は私に与えられた短かい時間では到底尽すことはできませんので、私はただ一つの問題を中心にして申し上げたいと思います。ヒューマニズムは現実形態としては極めて多様な形態を持っております。例えばルネッサンスのヒューマニズムという言葉はしばしば使われる言葉であります。同じ様なヒューマニズムという言葉を使っていますが、ルストイのヒューマニズムとか、ガンジーのヒューマニズムとかという言葉も使われておる。然るにそのルネッサンスのヒューマニズムは中世末期のカトリック教会のあり方や、僧侶の墮落に対するプロテスタトという一面を持っております。そこでは現実には宗教というものが、宗教そのものでなくとも、当時において宗教のあり方がヒューマニズムのプロテスタトの対象になっております。それに対してトルストイやガンジーのヒューマニズムでは、その背後に宗教的信念がある。その宗教的信念の上に立って、近代機械文明の生み出した様々な害悪にプロテスタトをしております。こういうふうな実質的には非常に異なったものが、同じヒューマニズムという名前と呼ばれているのは何故

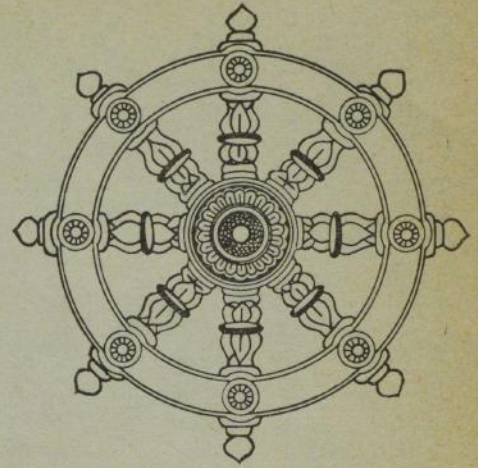
か。この問題を中心にして私は問題を考えて参りたいと思います。

ヒューマニズムとは、人間中心の考え方であり、人間尊重の精神を中核に持っております。その意味では、これは超実在的な神観念とか、生命のない物質を中心としての考え方と対立するものであります。人間を尊重すると言っても、人間の本心をどういうものか考えるかによって、その尊重の仕方も変わってくるのです。神によって人間を考えることが、真に人間を人間として考えることだとする考え方も実際にあれば、また生命のない物質から生命が生まれ、その生命の進化の過程の中に人間をおいて考えるのが、人間を真に人間として正しく考えることだとする、そういう考え方もあります。その限りにおいては、人間尊重の精神といっても現実的には様々な形をとり得るのであります。現に様々な形をとっております。従ってヒューマニズムとは一つの思想なり、一つの世界観として見るべきではなく、物の考え方であり、精神の態度、思想や行動や感情の態度とすべきであります。そうすれば、それが現実の社会や文化の状況によって更に異なる形態をとることが、自然のこととして理解できるのであります。そこで私は、ヒューマニズムの現実的形態の区別として、元素的ヒューマニズム、(エレメンタルヒューマニズム)。基本的ヒューマニズム、(ファンダメンタルヒューマニズム)。そういうふうな呼んでいいものを以前から考えております。これは私だけの考え方でありまして、ほかにそういう考え方をしている人を知らないのであります。私としては、昭和十一年にその頃の雑誌「思想」に「ヒューマニズムについて」という短かいものを

書きましたが、その中でそういう考えを述べておられますが、それ以来私はこの考え方の基本的な線については考えを変えておりません。人間中心の考え方は、人間が人間らしく生きることを我々の生活の眼目にするのであります。それは当然その人間が人間らしく生きることを否定する者に對するプロテスト、その人間が人間らしく生きるということと同様、その人間が人間らしく生きることを否定するものは、時代によって、国によって、社会的状況によって色々な形をとります。それによってヒューマニズムのプロテストの対象も違ってまいります。しかし社会的状況のいかによって、プロテストの対象は違ってくるにしましても、それがまずもってプロテストという形をとるといふ点では一つであります。ここに私のいう元素的ヒューマニズム、基本的ヒューマニズムというものがあるのであります。私が元素的ヒューマニズムとか基本的ヒューマニズムとかといふものは、実際には一つの実体ではなく、一つのイデオロギイであります。実体はそれぞれの時代、それぞれの社会におけるヒューマニズムの現実形態が常にプロテストとして、否定の精神として現われるところにヒューマニズムの本質を見ることができるのであります。それを私は元素的ヒューマニズムとか、基本的ヒューマニズムとか呼んでいるのであります。この否定の精神の背後には人間に対する大きな肯定の精神があります。人間に対する根本的信頼の感情があります。そうでなければ、人間中心にものを考えることもできませんし、人間尊重を表面に押し出すこともできない訳であります。人

間というものは、その歴史と社会の中で次々にその豊富な可能性を実現してきたので、今後もおおその可能性を実現していくのであります。しかしその大きな可能性の実現の過程において、人間は自分を阻害したり、自分を喪失したりしました。それにはそれで理由があるのであります。人間がその豊富な可能性を実現してまいりましたのは、人間生活の必要に応じて社会を作り、文化の諸領域を開発してきたのによることであり、文化が、文化というものはそれが一旦、一つの文化の領域としてでき上りますと、それ自身の論理とメカニズムとを持って自己運動をいたします。そしてその自己運動の過程における自己変質によって、人間の主体性を否定するような事態が生まれてまいるのであります。文化の主体性はもともと人間であります。人間が自己の可能性を実現するものとして、文化は人間によって作られたものであるものであります。それはキリスト教がローマ政権の支配の中で演じた役割は、ヒューマニズムの基本的要求に答えたものが多々ありますが、それによってキリスト教は大きな力となって、それが教団の組織を整え、教義信条を確立し、僧侶の地位が高まるにつれて、それはその中にヒューマニズムの立場からするプロテストを受けなければならぬようなものを生むに至った。それがヒューマニズムとしてのルネッサンスや、宗教改革の運動を生んだのであります。機械といふものをとってみましても、その機械の発生には、かつて奴隷にやらせた、人間にとっては辛い仕事を何かに代ってやらせようとする動機が働いていたのであります。そのようにして作られた機械も、作られ

たものが作るものになるといふ法則に従って、段々機械が発達し、そして機械文明といふ形をとるにつれて人間が機械の主人たる位置から、機械の奴隷となるような位置に落ち込むようになる。そういう状態を随処に作り出したのであります。それから機械文明に対するプロテストが、トルストイやガンジーの名と結びついたヒューマニズムという形でなされるようになったのであります。こういう現象は、社会と文化のあらゆる方面にそれぞれ形で存在してまいりましたので、それが歴史の上に表われたヒューマニズムの現実形態となつたのであります。現在では政治や経済の中に顕著にそういう人間の主体性を否定する、そういう現象が見られ、従って現代のヒューマニズムはそれへのプロテストという形をとっております。そういうふうなその現実形態が、時代や社会や文化の状況によって、様々な形をとってまいりましたけれども、人間の主体性の回復という点では、それは一つのものとも見ることができるのであります。そこをつかまえて、私は元素的ヒューマニズムとか基本的ヒューマニズムとかといふイデオロギイを考えている訳であります。人間への信頼の感情のないところにヒューマニズムはありません。しかし人間の現在があるままの姿に満足する所にもヒューマニズムにありません。より高い人間への不断の自己超克、常に人間を発見すると共に、常に人間を高めんとする意志、こういうものに人間尊重のヒューマニズムの立場があるのであります。(去る三月十六日東京プリンスホテルに開催された仏教文化会議東京会議に於ける講演要旨)



大会準備に大童の

岡山県仏教会

と き 43年10月1・2日

と ころ 岡山県体育館
主催・全日本仏教会・岡山県仏教会

第十六回全日本仏教徒会議を五ヶ月後にひかえた岡山県仏教会では、昨年末より高峰秀海会長陣頭指揮のもとに着々と準備が進められ県下の各寺院のもり上りは著しく、中国地方はじめての大会とあってその成果が各方面から注目されている。

岡山県では、さる五月七日午前十時より三時まで新装なった日蓮宗の名刹蓮昌寺会議室において、別掲の各実行委員三十五名と全仏本部との合同打合せが開催された。

まづ高峰秀海会長のあいさつ、都守事務局長の経過報告、全仏伊藤組織局長より仏教徒会議について同様井文化局長より全仏講習会開催についてそれぞれあい

さつがあつたのち、松永大俊師を座長にえらび、仏教徒会議岡山大会、中国、四国ブロック会議について柳組織部長より説明、全仏講習会を岡山県において開催することについての説明を伊東文化部長から行なわれ、大要つきのとおり決定された。

会期は十月一日、二日を再確認し、大会場を岡山県体育館を第一日に、岡山県農業会館に第二日と決定した。

また部会場には、(第一) 総合文化センター、(第二) 岡山県農業会館、(青年) 蓮昌寺会議室、(檀信徒) 県体育館となつた。



(上がスター・下大会準備で多忙な役員)

の指標となる「スローガン」「大法輪のもとに集れ、大きく強く転輪せよ」記念の社会活動は一、慈悲の献血運動第二年度の実施、身障者への救援、青少年の育成、ベトナム難民の救援等が考えられている。

その外大会までに各地区においてお待受伝道を積極的をもちあげ仏教徒の結集と振興策を強力に推進する。

全仏講習会は七月下旬に現地の要望を入れた有意義な講習会を主として住職、寺族を重点におき行なうこと。

中国、四国ブロック会議は、講習会を契機として行なう等が重点的に決められた。

なお全仏では、これらの原案を主として組織専門委員会や各機関にはかつて最終的な開催要項を作成し、六月に入つて各宗派、団体へおくられることになつている。

当日の出席者つぎのとおり。

高峰秀海、松永大俊、井上観潤、宮崎海優、永宗哲敏、真西泰範、松浦鉄定、越海大恵、八木慈文、加賀屋秀忍、石淵晃善、則次春然、三宅桂仙、片岡黙仁、神谷性円、清涼光玄、岸真善、岡田南嶺、高橋靈岳、福田寺全性、河形良岱、津守密道、児玉靖邦、華山泰寛、谷祐遵、井上実乘、中野良成、高橋弘基、赤松敏之、井藤太然、白井雅章、原田智詮、大西友邦、佐々木尚範、都守泰一


(全仏) 伊藤勝淳、桜井大乗、柳了堅、伊東堅純、福井清俊、服部光順

— 御贈答に!! 記念品に!! 布教用に!! —

- ◎全国観光温泉地1泊旅行に御招待
又は豪華なお品を御贈呈(輸入商品1口5万円毎)洩れなく
- ◎日用文化用品を5品御贈呈(輸入商品1口3万円毎)洩れなく

弊社取扱商品(印度・セイロン製)直輸入品

線香・白壇(香・製品)・沈香・民芸品(木彫・象牙・真鍮・其ノ他)等

お問合せは 全国総発売元  梅金商店

名古屋市中区岩井通り4の2 TEL名古屋<052>241-0901・1920
協賛 印度大使館・セイロン大使館
指定推薦 全日本仏教会・輸入元 かつばみ商事貿易部
◆詳細は御一報下さればカタログを御送附します

|| 仏教をすべての人びとの手に ||

檀信徒結集に張切る岐阜県仏

岐阜県仏教会では、昨年の第十五回全日本仏教徒岐阜大会の盛挙を契機として、「岐阜県檀信徒会」が結成されたが、このあとをうけて昭和四十三年度は百万人の花まつりと題し、岐阜県名宝展、花まつりパレード、花まつりの歌の募集等意欲的な活動をつづけ他府県仏教会から注目をもって見られている。

とくに昨年に引つづき毎日曜日ラジオ岐阜「岐阜県仏教徒の時間」の放送や「仏教ぎふ」の刊行等目ざましいものがある。

こうした運動展開をより浸透させるためさる五月四日午後一時より同市市民会館において全県下の僧俗約一千余名が参加し役員総会が盛大に行なわれた。

当日は釈尊降誕中央花まつりとして南高校(仏教系)生徒代表による献灯、献華、焼香に引つづき大導師名譽会長梶浦逸外老師のパーリー語による三篇依文にはじまり、各役員の灌仏、花まつりのことば、花まつりの歌、仏教徒の歌「あゝこのよろこび」が南高校生のブラバンドによって荘重に行われ式典を終えた。

つぎに花まつりうた、俳句、短歌、児童の書道、図画の各入選者の発表と、表彰式にうつり全日本仏教会大谷光暢会長



の表彰状が稲田事務総長から伝達された。

そのあと総会にうつり全仏から稲田事務総長、和田県仏会長のあいさつ等があったのち、議長に中濃関市仏会長、副議長に東濃代表、若菜檀信徒会代表が選任され、加納理事長の今年度の事業計画を発表し承認を得たるのち各地区の代表がそれぞれ檀信徒会の現状報告と今後のすめ方について発表し総会を終了、引つづき仏前結婚式を挙行し一千余名に祝福

された新郎、新婦は幸福そのものであった。今後仏教徒はなるべく仏前結婚式を行なうよう指導していることは新しい試みとして多大の好評をうけた。

最後に林靈法師の「釈尊の降誕と世界の開眼」と題して記念講演が行なわれ午後四時盛會裡に幕を閉じた。

なお全仏から稲田事務総長、伊藤組織局長、柳組織部長が出席した。

愛知県仏

ウエサカ

(国語讀仏の日)

去る五月十三日愛知県ウエサカ鑽仰会では、世界仏陀の日ウエサカ祭が盛大裡に開催された。十時より寛王山泰安塔で「供養」午後一時より名古屋東別院で「式典」、同二時より一名古屋仏教徒大会が開催された。このウエサカ祭は毎年開催され、愛知県仏では、仏教徒会議とともに二大行事の一つである。

ウエサカ祭

ウエサカというのは、釈尊のお生まれとお悟りとお亡くなりになったのを含めてするお祭りのことである。従来、わが国

では四月八日に御誕生せられ十二月八日にお悟りをひらかれ、二月十五日にお亡くなりになられたということで、別々に花まつり、成道会、涅槃会が行なわれて来た。ところが、セイロン・ビルマ・タイ・インド等の東南アジアの各地においては、一つの伝説として、釈尊一年のうちで満月の一番に美しいウエサカ月に生れ、又その日に悟り、又その日に亡くなったという立場から毎年ウエサカの満月の夜に盛大なお祝いが行なわれて来ている。澄んだ紺青の夜空に満月を仰ぎながら、屋外の小高き辺りにあって経典の一節が大衆によって誦誦せられ、各自の感懐を述べあつてこの聖夜が祝福されるのである。それにひきつづく一週間は、国家的祭典として非常なお祭気分が国内に漂う。大統領をはじめ、朝野の人々もこの大祭典に参加して、大聖釈尊の御人格を鑽仰したてまつるのである。

こうした東南アジアにおける国家的なウエサカ祭に相応じて、わが国においてもここ数年來全国各地にこの意義あるウエサカ祭が行なわれて来たのである。

地震お見舞

過般突如北海道東北を襲った「十勝沖地震」は、関東大地震に次ぐ大きなもので、函館八戸においては多大の災害をこうむられた。衷心より御見舞い申し上げ一刻も早く復旧されんことを念じてやみません。

財団法人 全日本仏教会

参院選

全仏推薦者決定

全仏では常務理事会の議決にもとずき選挙対策委員会を開き来る七月七日行なわれる第八回参院通常選挙の立候補予定者の全仏推薦者を次のように決定した。

我々仏教徒は、あらゆる社会福祉事業を通して政治の貧困を感じている。仏教精神による政治実現のため、全員の当選を期したい。

【全国区】

- 石原慎太郎 35 作家 自民新
- 石本 茂 54 看護協会顧問 無所属
- 現 日赤看護婦養成所卒 大谷派門徒
- 上田 哲 40 NHK労委員長 社会新
- 小児マヒ根絶キャンペーンの真実の人間性追及、弾力的な若い社会党改革者の情熱、さらにその弁才と指導力、マスコミのもつ才幹を期待。
- 賀陽 邦寿 46 会社役員 無所属新
- 国際友好と平和の確立 国民の生活と福祉の向上 国民的自覚に基づく清潔な政治 教育と宗教による人材の育成 自然資源と科学技術の開発 京都大学卒
- 川野 三院 58 僧侶 自民現
- 北海道開発政務次官 公選法委員長
- 本願寺派正念寺住職・宗会議員・東洋大卒全日本仏教会参与
- 大松 博文 46 会社顧問 自民新
- 流動する世界情勢の中で、日本の進むべき道を正しく認識し、明日の日本を築くため精力を傾注して献身したい。失なわれつつある民族精神の高揚を計り、日

本人としての自覚に目ざめさせる。

- 今 東光 69 僧侶 自民新
- 作家「お吟さま」により第三十六回直木賞を受賞 作家活動中出家天台宗僧侶となる 中尊寺・水間寺・天台院・密蔵院・明眼院の住職 函電通顧問 日本ベシキクラブ会員 日本文芸家協会々員
- 佐藤 三蔵 61 私立病院院長 自民新
- 日蓮宗総本山久遠寺特別大本願人 全国首老人福祉施設連絡協議会々長 東京医科大学理事 大阪外国語大学・東京医科大学・金沢大学で内科、衛生学を専攻し医学博士の学位授与
- 永野 鎮雄 59 本願寺派僧侶 自民新
- 東北帝国大学法律科卒 竜谷大学真宗学科・研究科卒 弘願寺住職 浄土真宗本願寺派教育・秘書・文書部長・総務等歴任 現在宗会議員
- 福田 繁 57 前文部次官 自民新
- 終戦直後の虚脱状態の中で、信教の自由と宗教団体の保全のため尽す。神社仏寺の国有境内地、保管林の処分決、GHQと接衝などに尽力。青少年の健全と宗教の尊重問題と取り組む。

【地方区】

- 石井 桂 69 党都連副会長 自民現
- 練達した政治的力量と都市問題解決への科学的にして、人間愛にとんだ人格、さらに東京への深い愛情と情熱を評価
- 東大卒。参議院議員当選二回。東京都曹洞宗妙厳寺檀徒総代
- 鬼丸 勝之 54 元建設官房長 自民現
- 建設省専門委員 建設省住宅局長等歴任 福岡県
- 大谷派光源寺門徒
- 古池 信三 65 元郵政相 自民現
- 岐阜県仏教会檀信徒会顧問 参議院自政審会長 郵政相 通産政務次官等歴任 東大卒
- 第十五回全日本仏教徒（岐阜）大会開催にあたり、全仏に協力
- 佐藤 一郎 55 前大蔵次官 自民現
- 前大蔵事務次官 神奈川県庶務・教育各課長 大蔵省主計局長 神奈川県 東大卒
- 林田悠紀夫 52 党府連顧問 自民現
- 全販連顧問 農林省園芸局長 近畿農政局長を歴任 舞鶴市 東大卒
- 松下 正寿 66 弁護士 民社新
- 立教大学卒業 コロンビア大学より哲学博士号授与 核禁会議を結成 核禁宗教者使節および日本宗教者平和便節団長として、核兵器禁止のため活躍 東京都
- 安井 謙 57 元自治相 自民現
- 党沖繩問題特別委員長 党参議院副会長 総務長官 自治相 参議院党幹事長 墓地新通達破砕運動に際し、積極的協力
- 柚木 栄吉 48 県議 自民新
- 富山県大谷派養照寺門徒総代。
- 渡辺一太郎 58 会社々長 自民現

日本大学卒 内務省採用厚生省衛生局 徳島県農務課長・人事課長 内務事務官 兼外務省中央終戦連絡事務局連絡官 鳥取県警察部長 千葉県警察本部長 千葉 県副知事

追加

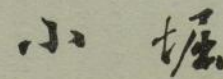
〔全国区〕

松本 英一 47(株)松本組社長 社会新
明治大学卒 浄土真宗

〔地方区〕

米田 正文 63 大蔵政務次官 自民現
九州帝国大学卒 仏教 福岡県
原田 文枝 46 県文化会館副館長 民社新 福岡県

伝統と創作・京仏壇仏具



京都店 下京区烏丸通東本願寺前 電(37) 2195(代)
東京店 台東区西浅草1丁目65 電(843) 6961(代)



長野県仏教交通安全協会

藤本幸邦

昨年の全日本仏教徒岐阜大会において長野県仏教会提案の主題議案は全面的に採択決議され、まず長野県において実験的に展開し、遂次全国運動に発展せしめることになりました。

本運動の発端は昭和四十一年の秋、諏訪仏教会及び檀信徒総代会が交通事故死亡者の合同慰霊法要を修行した際、交通事故の原因が、今日における日本国民の宗教心の欠如にある事を指摘し、仏教精神に基く国民の教化活動を通じて交通事故を防止すべきである、県仏教会に對此これを要請することを決議したのであります。県仏教会はこの要請を入れて運動展開の具体策を立てるために、県仏、仏青、仏婦、檀信徒の各会より推進委員をあげて原案を練り、昨年の秋、長野県仏教徒大会を諏訪市に開催してこれを決議し、その決議に基いて全日本仏教徒大会に提案したものであります。かくして県尼僧法団も全面的に賛成してこの運動に加盟し、ここに長野県仏教交通安全協

会を設立し、実動の主体を県仏青におき、仏青会長を事務局長とし、宣伝、企画、組織、財務等各部の責任者を仏青幹部に運び、会長を県仏会長、副を県仏副及び仏婦、檀信徒総代会会長とし、各都市仏教会を支部として発足いたしましたのであります。尚顧問を善光寺両山住職、長野県知事、県警本部長、県公安委員長、県交通安全協会会長等をお願いしたところ大変に喜ばれ、本運動の発展に協力して下さることを快諾されました。

発案当初、本運動の徳目を六波羅密とすることが考えられましたが、経典の文字は一般に難解であり、日常語ではないため青年には親しめないことを察し、むしろ運動を拡げやすくするには誰でもが知っている言葉を用い、内に仏教の精神を説くべきであると思ひ、中学生でも知っている英語をもって安全運転の指針を示したのであります。Engineer (科学技術) Etiquette (社会道德) Education (教育文化) Everybody (連帯責任) の

四つをスローガンとして4E運動と称することにしました。たまたま岐阜大会のあと豊田市仏教会より、4は死の語呂に一致するため運転者がきらいわせぬか「坊さんの運動で死いかな」とケチをつつけられても心外故 Everybody (日日信仰) を加えて5E運動としたいとの連絡があり、当県仏教会もこの意見に賛成して5E運動とすることになりました。そしてその表象マークをみ仏の慈悲の手とし、手のひらにEを入れ、五本の指をもって五つのスローガンを示すことにしました。会員は各寺院を主体として募集し、随時交通安全講習会を開き、無事故運転者を毎年表彰し、バッチの手のひらに無事故の年数を刻み、自動車にも同様のステッカーをはることにしました。しかし本運動の講習は警察の講習と同等に認められることとなり受講の証明は免許手帳に書き入れられることになりました。もとよりその講習は警察と提携の上であります。三年に一度は受けねばならぬ講習を寺院が本運動の名において実施することが認められた事は、本運動の権威となりました。また無事故会員の調査は各寺院の申請に基き、警察の電機計算によって確認してこれを表彰することにしました。表彰に当って五年は銀のバッチ、十年は金のバッチ、更にルク、シヤコ、メノー、サンゴ、コハク、シンジユと長年無事故運転の精進をたたえ安全運転を仏教徒としての栄光たらしめんとするものであります。5E運動こそは、正に交通地獄に悩む現実を救わんことを誓願とする生きた地蔵菩薩の応現であります。しかもこの運動こそ新たな仏教運動の突破口であります。(1)家につながる

て(2)法要儀式の仏教から日常生活に生きる仏教として(3)老人の仏教から青年の仏教へと脱皮する突破口であります。今日も自動車は洪水のように走っています。交通事故の記録は年毎に増加してとどまることを知らぬとき生命を尊ぶ仏教徒として、この現実の悲惨事になすことなく手をこまねていることはゆるされません。「仏心で握るハンドル事故はなし」「5Eの手高くあげればみな安全」全日本仏教会は、各地域仏教会をうながし、各宗派教団と提携して、長野県の運動をテストとし、これを全国的に拡大発展せられたことを切々希求して、今日までの経緯を報告するものであります。ちなみに去る四月九日、別所北山観音において、県仏教会長半田孝海大僧正の導師により、仏教会役員、仏青役員、仏婦、檀信徒会代表の参列のもと、県知事、県教本部長代理、全日仏組織、曹洞宗務庁企画室長代理等の来賓を迎えて本運動の発会祈願法要を厳修し、現在会員募集中であります。今秋は善光寺において交通事故死亡者の慰霊法要をつとめ本運動の宣布展開を期しております。


**スラチナ
ポケット**

¥1000~¥3000

文部省主催 宗教学人実務研修会

文部省文化局宗務課では、本年度の宗教学人実務研修会を次の要項の通り実施することになった。全仏では、宗派・都道府県仏教会から積極的に参加することを希望している。

- 一、趣旨 宗教学人および都道府県に対し、宗教学人運営上の実務について研修を行ない、法人意識の徹底、事務能力の向上をはかり、もって宗教学人の管理運営の適正化に資する。
- 二、主催 文部省および開催県
- 三、協力団体 財団法人日本宗教連盟・開催地の県宗教連盟等
- 四、実施計画
東北・北海道地区（北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）岩手県庁講堂・十



寺のお紙表

日蓮宗の常門
寺新宿小田急デ
パートの横にあ
る近代的な寺
院。

境内には、本堂・客殿・庫裡・鐘楼堂が調和よくならんでいる。ここには徳川十一代家斉像の腹中に

蔵されていた祖像がある。天正年間の創立で開基は中道院日立。江戸町奉行筒井伊賀守の墓（史蹟）及び蜀山人の碑がある。現在の本堂は、昭和四十一年十月落慶。住職は立正大学理事長及川真学師

府県ごとに三十七人程度。備考 宗教学人については、被包括および単立を中心とするが、包括をも含むものとする。また、宗連等の役員をも含む。

参加者の決定方法等
○参加希望者の申込方法
参加希望者のうち、宗教学人関係者にあつては、その氏名、宗教学人名等、職名、連絡先、宿泊希望の有無等を記載した申込書を、主たる事務所々在地在を管轄する都道府県宗教学人事務主管課へ研修開始の一月前までに提出する。

○参加者の決定方法（略）

六、研修内容
イ 宗教学人の管理運営
ロ 宗教学人の備付帳簿・役員制度
ハ 宗教学人の経理事務・財産管理
ニ 宗教学人と国税・地方税
ホ 宗教学人に関する行政事務
七、講師（略）
八、参加者の携行品
イ 筆記用具
ロ その他
九、宿泊
宿泊については、参加者の自由とするが、宿泊希望者については、開催県が宗連等と協力して、適当な宿泊所をあっせんするものとする。

ベトナムのウエツカに招請されて、去る五月十一日午前十三時三十分羽田発のエアフランス機で、戦乱のサイゴンへ出発した。

全仏では、会長のメッセージを同師に託し、パリ会談が成功し、一日も早く永遠の平和を獲得されるよう、ベトナム仏教徒の一層の努力を希望した。

吉岡師はベトナム仏教会の依頼により、戦災孤児一人とベトナムの山岳部族であるモイ族の青年二人を連れ帰り、孤児は福島県の篤志家に養育を託し、青年二人は然るべき機関において日本農業の研修をせしめる予定である。

印度飢饉救済金を
宮崎市の仏青が全仏へ依託

印度の飢饉に対して、宮崎市神宮町一五、浄土真宗本願寺派真栄寺の至慶仏教会が一金三万三千三百円を難民救済のために同宗本山本願寺へ寄託したが、同本山より全仏へ然る可き方法で現地へ届けるよう依頼があつたので、全仏国際局において、駐日印度大使館と連絡し、同大使館経由にて現地へ送ることになった。

宗派・県仏・
団体人事（就任）

福井県仏教会	会長 吉田智信 副会長 吉田省吾 幹事 前田昌範
福井県仏教会	会長 平光寿 理事長 渡辺尚爾 幹事 野田了初
善光寺	事務局長 若麻績貫保 法務 筒井芳寛 普善 藤沢泰太郎
茨城県仏教会	所在地 水戸市八幡町十二番六九号 (祇園寺内)
曹洞宗	宗務総長 山田義道 總務部長 芳賀達宗 教学 宮前鳳洲 社会 渡辺秀雄 財政 穴戸正勝 教化 町田宗夫 秘書室長 松下淳峰 企画 岡田巳成
浄土宗	教化部長 佐藤孝全
仏教徒政治同盟	委員長 杉本良智 副委員長 貝山宣泰 常任委員 山本洋一 事務局長 吉田秀英 常任委員 神谷豊信 同次長

全仏では「十勝沖地震」救援金を取扱っておりますが協力ねがいます

昭和四十二年五月一日発行
発行人 伊藤勝博
編集人 柳了堅
東京都中央区築地三十一番一（本願寺）